平成２１年度三重県公衆衛生審議会議事録

平成２２年3月１２日（金）
１３：３０～１５：３０
於：三重県歯科医師会館

１　開会
２　健康福祉部長挨拶　（省略）
３　委員紹介　（省略）
４　会長、副会長の選任について

現在三重大学の教授が空席でメンバーが揃っていないので、来年度メンバーが揃ったところで改めての選出をお願する。

本日の会議の会長、副会長を選出　会長　馬岡委員、副会長　水谷委員

５　部会報告

資料１に沿って事務局より報告　（省略）

【藤田委員】　介護予防市町支援部会報告の中で、ポピュレーションアプローチとはどういうことなのかもう少し説明をお願いします。

【事務局（大森）】　ポピュレーションアプローチとは６５歳以上のすべての方を対象とした一般高齢者施策のこと。一般高齢者施策に対して特定高齢者施策という、虚弱な方、要介護状態になりうるハイリスクの方を対象にしたハイリスクアプローチがある。

【馬岡会長】　６５歳以上の方すべてというけれど、特定高齢者を見つけ出すにあたって、６５歳以上全員をチェックすること自体難しい。特に保険のからみで健保の家族の７５歳以下の方が、健診や生活機能評価の場に出てこない。それに対してどうするか具体的な議論はありましたか。

【事務局（大森）】　そのことについては、議論にあがっていない。しかし、市町によっては、申し出があれば生活機能評価にのっていただくところもあると聞いている。

【馬岡会長】　ポピュレーションアプローチというからには、対象となる人をチェックできるシステムが必要。それがないともれてしまう人ばかりになってしまうので、そうならないような具体的な方策について検討していただきたい。

６　審議

（1）ヘルシーピープルみえ・21 の推進について

ヘルシーピープルみえ・２１の年次報告書および追補版に沿って計画の概要を事務局より説明

資料２に沿って２１年度の活動実績及び今後の方向性について事務局より説明

【石川委員】　総合の領域について、健康カンパニーは自前で健康保険組合や産業医を持っているような大きな企業なら当然やっている、あたり前のこと。そういうことができない旧政管健保とか協会健保の対象の事業所などやりたくてもやれない人（事業所）に対してどう支援していくかというのが必要なのではないか。

栄養・食生活について、消費のみを体験している時代。本当の食育とは作物を生産して利用して最終残渣、始末まで、食の循環というひとつのサイクルを体験してこそ本当の食の教育ではないか。ものを作ること自体が人間教育の一番大切なことではないか。食のパッケージ（一連のサイクル）の中で健康福祉部は何をやっていくか、部局の壁はあるだろうけれど、それを乗り越えてやってほしい。

運動について、ウオーキングは当たり前でみんなやっている。何が問題かというと、快適なウオーキングができる場所がない。インフラの整備が必要ではないか。ほかの運動についても、運動がいいことはみんなわかっているので、体育館や施設を充実してほしい。

こころの分野では、原因として雇用問題で悩んでいる人が多いのであればハローワークとの連携とかワンストップ対策ということになろう。

がんについて、がんの受診率が低いのは何が原因なのか。市役所から健康診断のお知らせが来るが、民間の人間ドックを受けているので利用しない。利用率はどうなのか。利用しないのでれば別段希望せずということでいいのではないか。

【事務局（稲葉）】　健康カンパニーについては、健康カンパニーの審査委員会でも同様な意見が出ており、中小企業にも広げていきたいと考え、３０のヘルシーカンパニーに協力いただき、関連企業に制度についてお知らせいただくようお話ししている。

食育に関する部局の壁については、農水商工部と教育委員会と健康福祉部で定期的に会議を持って、一体的に推進できるように努めている。

【馬岡会長】　それぞれ分けて議論しましょう。総合領域についてほかにご意見、ご質問はございませんか。

【鈴木委員】小規模事業所については、５０人未満の産業医の専任の必要ない事業所については、県医師会、郡市医師会の協力を得て、地域産業

保健センターを設置し、そこで医師や保健師による小規模事業所の健康相談を実施している。そのことについては、県との連携が整っていないので連携しながら実施していきたい。

【馬岡会長】　地域産業保健センターは、各保健所管内に１箇所づつあるが、活動内容やアクティビティがそれぞれ違う。地域産業保健センターの活動と県の行政が縦割りになっているところで、ロスが多いのは間違いがないと思うので、ぜひコミュニケーションをとっていただきたい。

　次に、栄養・食生活領域でご意見、ご質問ございませんか。

【小林委員】　総合にも関連するかと思うが、若者に関連する推進が感じられない。幼児期を対象には書かれている、小中学校では給食があるが、学校給食は高等学校になるとなくなる。若者の食生活は本当に乱れている。教育委員会の指導も高校生についてはないような状態、現場でがんばらないといけないが、協働で推進していけたらよい。若者に対する取組について報告書では、タバコについて高等学校にも働きかけて積極的な取り組みがしたいと書かれている。栄養・食生活の部分でもそういう取組を願っている。

【馬岡会長】　教育委員会との連携に関連すること。次に、運動に関して、場所についてご意見がありましたが、他にいかがでしょう。

【庵原委員】　ウォーキングについては、お金がかからない、しかも施設が要らないということが売りで、ウォーキングということが出てきたと思う。バスを２駅ほど前で降りて歩こうということが始まり。スポーツとしての概念ではなくて、健康を支えるために最低１日何歩歩きましょうという概念で出てきてると解釈している。バスを早く降りて２駅分歩きましょう、というような具体的なキャンペーンをしたほうがいいのではないか、ウォーキング＝運動、山を登らないかんとか言うのではなく気楽に取り組めるというニュアンスを取り入れるのがいいと思う。

【事務局（稲葉）】　三重県のウォーキング協会ではすべての自治体でウォーキング大会を実施すると聞いている。またマラソン大会にウォーキング大会を組み込んで実施するケースも増えてきた。具体的なキャンペーンともあわせて行っていきたい。

【馬岡会長】　こころ、タバコについてどうですか。

【中山委員】　厚生労働省からの通知に関して、周知をする先は市町だと思うが、官公庁については全面的な禁煙という内容になっていたと思う、県も周知だけではなく、行動を始めていただきたいと思う。県の対策を聞かれたときに困ることのないようにすすめていただきたい。

【馬岡会長】　神奈川県は積極的に条例を策定しているが、三重県はその

ような議員立法など動きはどうなのか。

【事務局（稲葉）】　三重県では、条例化の動きはない。当該通知は市町以外にも県医師会、病院協会、産業界、職員関係、健康増進法でいうところの公共的な空間に関係するところにはすべて通知をするようにしている。県庁の全面禁煙については多くの県民からも意見をもらっている。１８県で庁舎の全面禁煙を実施している。三重県についても、前面禁煙に向かって検討していく準備をすすめているところ。

【馬岡会長】　アルコール、歯については。

【中井委員】　母子歯科保健についての事業計画をたてており、すべてのステージにおいて柱をたてている。

【馬岡会長】　糖尿病、がんに関して。

【庵原委員】　昔からがん検診の受診率が低いのは日本中問題になっている。しかし三重県では、乳腺に関しては大学を中心に広くネットワークが行われている。乳腺だけピックアップされているが、これからは、できれば大腸がんや子宮頸がんなど、今増えつつあるがんも入れ込んで活動をしていただけるとありがたい。少なくとも今県民で増えているがんに関する健診については、啓発をするということを入れていただきたい。

【馬岡会長】　特定健診が始まってから、市町の住民のがん検診が減った。県医師会では、住民検診とがん検診を同時にやるように交渉をしているところ。予算の問題、他に回っているのではないか。

【庵原委員】　健診というと、中身の項目関係なくみんなやってくれているものと思っている。そういう誤解から、健診の受診率が落ちたのではないか。特定健診はこういう項目で、がん検診はこういう項目だから両方受けなさいという、トータルで健診を案内するという視点を持つ必要があるのではないか。

【馬岡会長】　ご意見たくさん出ましたので、よろしく対応をお願いします。

（２）保健医療計画評価表について

資料３，４に基づき事務局より説明

【中井委員】　子宮頸がんのワクチンについては、若い女性が対象で子育て中だったりする、３回の接種で５万円になるなど高額になるので、助成などの対策の動きはあるのか。

【馬岡会長】　市町によって異なる。

【事務局（古元）】　ＨＰＰワクチンについては、１％の市町で助成をするという記事を最近読んだ。全国１８００くらいの市町村の中で２０位の

市町村で始まったばかり。県にもそのようなものを対象にしてはどうかとの意見もいただいているが、検討中という以上のことは言えない状況。また、庵原先生よりご意見いただきました大腸がんや子宮がんについては、がん健診としてのパワーが強いがんと認識している。乳がんに限らず留意して行っていきたい。

【馬岡会長】　疾病ごとの対応より、以前の２次救急が崩壊している現状がありので、その部分を抜きにしての４疾病５事業は存在しない。そのバランスに留意をお願いしたい。

今までのご意見について、今後の施策への反映をよろしくお願いします。

７　その他

新型インフルエンザ最新情報

資料５に基づき、今までのインフルエンザがどうだったか、新型インフルエンザが今後どうなるかについてお話いただきました。

８　閉会